

1.	①	11.	④	21.	④	31.	②	41.	③
2.	①	12.	②	22.	③	32.	②	42.	③
3.	③	13.	③	23.	③	33.	④	43.	③
4.	③	14.	③	24.	②	34.	②	44.	④
5.	③	15.	③	25.	②	35.	③	45.	④
6.	④	16.	①	26.	①	36.	②	46.	④
7.	①	17.	②	27.	②	37.	①	47.	①
8.	③	18.	①	28.	④	38.	①	48.	④
9.	③	19.	②	29.	②	39.	③	49.	③
10.	①	20.	②	30.	②	40.	②	50.	④

1.

解答 ①

【解説】

正解は①の **brush up on** ~です。この句動詞は、以前は持っていたが、しばらく使っていなかったために錆びついてしまった知識やスキルを、練習し直して「磨きをかける、学び直す」という意味で使われます。I need to brush up on my French before I go to Paris. (パリに行く前に、フランス語をやり直しておく必要がある) のように用います。② **catch up on** ~は「~の遅れを取り戻す」、③ **give up on** ~は「~を見限る」、④ **look back on** ~は「~を振り返る」という意味です。

◆補足：brush up on ~という表現には、古い家具のほこりをブラシで払って、再び輝きを取り戻すようなイメージがあります。このイメージを持つと、「錆びついたスキルを磨き直す」という意味が理解しやすくなります。前置詞の on は省略されることもあります。brush up on ~の形で覚えておくとい良いでしょう。

2.

解答 ①

【解説】

「(ある結果に) ~を導く」という意味に最も近い英単語は①の **lead** です。ある行動や状況が、特定の結果や結論を引き起こす原因となることを示します。この意味では **lead to** ~ の形で使われることが非常に多いです。例えば、「睡眠不足は健康問題につながることもある」のように使います。他の選択肢について、② **read** は「~を読む」、③ **load** は「(荷物など) を積む」、④ **lend** は「~を貸す」という意味の動詞です。

◆補足：lead は多義語で、「~を率いる、指導する」という意味も重要です。その場合の名詞形は leader (指導者) や leadership (指導力) です。また、名詞としては「鉛」や「(劇などの) 主役」

「(競争での) 首位」といった意味もあります。特に動詞の **lead** /led/ と名詞の「鉛」 /led/ は発音が同じでスペルも同じ(同形異音異義語)なので注意が必要です。過去形・過去分詞形は **led** /led/ であり、このスペルも頻出です。

3.

解答 ③

【解説】

正解は③「故障した」です。句動詞 **break down** は複数の意味を持ちますが、この文脈のように機械や乗り物が主語の場合、「故障する、動かなくなる」という意味で最もよく使われます。**My computer has broken down again.** (私のパソコンがまた故障した) のように使います。①「侵入した」は **break in**、②「(戦争や火事が) 発生した」は **break out**、④「分解した」も **break down** の意味の一つですが、この文脈では不自然です。

◆**補足**：**break down** は文脈によって様々な意味に変化します。①「(機械などが) 故障する」、②「(物質を) 分解する」(例: **break down food** 食物を分解する)、③「(交渉などが) 決裂する」(例: **The talks broke down.**)、④「(感情的に) 取り乱す、泣き崩れる」(例: **She broke down in tears.**)、⑤「(項目別に) 分析する、内訳を示す」(例: **break down the costs** 費用を分析する) など、多義的なので注意が必要です。それぞれの意味を例文と共に覚えることが重要です。

4.

解答 ③

【解説】

英語表現「**lay off** ~」は、「~を一時解雇する」という意味です。特に、会社の業績不振などが原因で、従業員に非がないにもかかわらず解雇することを指します。例えば、「その会社は何百人もの従業員を一時解雇した」のように使います。選択肢①「~を延期する」は **put off** ~、②「~を断る」は **turn down** ~、④「~をやめる」は **quit** や **stop doing** です。

◆**補足**：**lay off** は、従業員自身の問題が原因で解雇する **fire** とは区別されます。名詞形は **layoff** で、「一時解雇」を意味します。また、口語では「(~を) やめる、控える」という意味でも使われます(例: **You should lay off junk food.**)。

5.

解答 ③

【解説】

正解は③の **at the same time** です。この表現は、二つの出来事が文字通り「同時に、一斉に」起こることを示します。**The two bells rang at the same time.** (二つのベルが同時に鳴った) のように使いま

す。① from time to time は「時々」、② all the time は「いつも」、④ in the meantime は「その間に」という意味で、いずれも時間に関する重要表現ですが意味が異なります。

◆補足：at the same time には、もう一つ重要な意味があります。それは、「その一方で、しかしながら」という、前述の内容と対照的な事柄を導入する接続副詞としての用法です。He is a very smart student, but at the same time, he can be a little lazy. (彼はとても賢い生徒だが、その一方で、少し怠け者なところもある)。この用法は、長文読解などで論理展開を追う上で非常に重要です。

6.

解答 ④

【解説】

正解は④「徐々に」です。by degrees は、物事が少しずつ、段階的に進む様子を表す熟語です。The sky grew darker by degrees. (空は徐々に暗くなっていった)。degree は「程度、度」という意味ですが、この熟語では「段階」のニュアンスで使われています。①「様々な程度で」は to varying degrees、③「ある程度は」は to some degree という表現が近いです。②「急に」は対義語の suddenly です。

◆補足：by degrees は gradually や little by little とほぼ同じ意味で使えますが、by degrees の方がややフォーマルで文語的な響きがあります。「段階を経て一步步」というイメージを持つと覚えやすいでしょう。

7.

解答 ①

【解説】

正解は①「電話を切らずに待つ」です。hold the line は、電話の相手に、担当者につなぐなどの理由で「電話を切らずにそのままお待ちください」と伝えるときの丁寧な決まり文句です。Could you hold the line, please? I'll put you through to the manager. (電話を切らずにお待ちいただけますか？部長にお繋ぎします) のように使われます。②「列に並ぶ」は stand in line、③「我慢する」は be patient や put up with ~、④「約束を守る」は keep a promise が対応します。

◆補足：hold the line は、日常会話ではしばしば Hold on. と省略されます。どちらも電話で待ってもらう際の定番表現です。the line は「電話線」を指しており、それを「保つ (hold)」ことから「切らずに待つ」という意味になっています。電話対応で頻出するフレーズなので、そのまま覚えておく就非常役に立ちます。

8.

解答 ③

【解説】

「～を配達する」という意味に最も近い英単語は③の **deliver** です。手紙や小包などを、宛先に届けることを指します。例えば、「ピザを配達する」は **deliver a pizza** と表現します。他の選択肢について、① **deceive** は「～をだます」、② **decline** は「～を断る、衰退する」、④ **delay** は「～を遅らせる」という意味です。

◆**補足**：**deliver** は、「(演説・講義など) をする」(**deliver a speech**) や、「(赤ちゃん) を出産する」(**deliver a baby**) など、文脈によって様々な意味を持つ多義語です。名詞形は **delivery** (配達) です。

9.

解答 ③

【解説】

英単語「**cost-effective**」は、「費用対効果の高い」という意味の形容詞です。費やした費用 (**cost**) に見合う、あるいはそれ以上の良い結果 (**effect**) が得られることを表します。例えば、「この新しいシステムは費用対効果が高い」のように使います。選択肢①「費用のかかる」は **costly**、②「無料の」は **free of charge**、④「時代遅れの」は **old-fashioned** です。

◆**補足**：**cost-effective** は、単に「安い」という意味ではない点に注意が必要です。高価なものであっても、それがもたらす利益や利点が大きければ、**cost-effective** と言えます。ビジネスや政策の評価などでよく使われる重要な語彙です。

10.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を再建する」です。**rebuild** は、破壊されたり損傷したりした建物を、もう一度建て直すこと、すなわち「～を再建する」という意味の動詞です。**The city was completely rebuilt after the war.** (その都市は戦後、完全に再建された) のように使います。②「～を改修する」は **renovate**、③「～を解体する」は **demolish**、④「～を設計する」は **design** です。

◆**補足**：**rebuild** の接頭辞 **re-** は、「再び」を意味します。**build** (建てる) に **re-** が付くことで、「再び建てる」つまり「再建する」という意味になります。このように、接頭辞の意味を知っていると、知らない単語でも意味を推測しやすくなります。**re-** がつく他の単語には、**reread** (読み返す)、**reuse** (再利用する)、**recycle** (リサイクルする) などがあります。

11.

解答 ④

【解説】

正解は④「市販されて」です。on the market は、商品などが「市場に出されて、売りに出されて、市販されて」いる状態を表します。The new smartphone is finally on the market. (その新しいスマートフォンがついに発売された)。①「勤務中で」は on duty、②「電話中で」は on the phone、③「危険な状態で」は in danger が適切です。

◆補足：market は「市場」を意味します。その市場 (market) の上 (on) に商品が並べられているイメージを持つと覚えやすいでしょう。put ~ on the market で「~を売りに出す」という表現になります。

12.

解答 ②

【解説】

正解は②の keep in mind that...です。この表現は、忘れないように「~ということを覚えておく、心に留めておく」という意味で、重要な情報や注意点を念頭に置くよう促す際に使われます。Please keep in mind that the library will be closed next Monday. (来週の月曜日は図書館が閉館するということを、心に留めておいてください) のように用います。①「心変わりする」、③「決心する」、④「共通点がある」という意味です。

◆補足：keep in mind that...と非常によく似た表現に、bear in mind that...があります。意味はほぼ同じですが、bear in mind の方が少しフォーマルな響きを持ちます。どちらも、相手に注意を喚起したり、重要な前提を共有したりする際に役立つ便利なフレーズです。

13.

解答 ③

【解説】

正解は③「どちらか一方」です。either は、二つの選択肢のうち「どちらか一方」を指す際に使われる代名詞・限定詞です。You can choose either the blue one or the red one. (青いのと赤いの、どちらか一方を選べます) のように使います。①「両方」は both、②「全て」は all、④「どちらも~ない」は neither が対応し、これらはセットで覚えるべき重要な単語です。

◆補足：either は、either A or B (A か B のどちらか) という形で、接続詞として使われることが非常に多いです。また、否定文の最後で、「~もまた (...ない)」という意味の副詞としても使われます。If you don't go, I won't go either. (もしあなたが行かないなら、私も行きません)。肯定文での too と同じ働きをします。

14.

解答 ③

【解説】

英単語「weapon」は、「武器、兵器」という意味の名詞です。戦闘や戦争で、相手を攻撃したり、身を守ったりするために使われる道具を指します。例えば、「核兵器」は **nuclear weapons** と表現します。選択肢①「天候」は **weather**、②「富」は **wealth**、④「結婚式」は **wedding** です。

◆補足：weapon は、物理的な武器だけでなく、比喩的に「(議論などの) 武器、手段」という意味で使われることもあります。

15.

解答 ③

【解説】

正解は③absorb です。この動詞は、液体、光、熱、音などを物理的に「吸収する」という意味で広く使われます。A sponge absorbs water. (スポンジは水を吸収する)。また、比喩的に知識や情報を「吸収する、理解する」という意味や、会社などを「合併吸収する」という意味もあります。①observe は「～を観察する」、②oppose は「～に反対する」、④obtain は「～を得る」という意味です。

◆補足：absorb の名詞形は absorption (吸収) です。be absorbed in ~という受動態の形で「～に夢中になっている、没頭している」という意味になる用法も非常に重要です。例：He was completely absorbed in the book. (彼はその本に完全に没頭していた)。語源はラテン語の ab- (離れて) と sorbere (吸い込む) に由来します。

16.

解答 ①

【解説】

正解は①insert です。この動詞は、何かの中に物を「挿入する、差し込む、書き入れる」ことを意味します。Insert a coin into the slot. (スロットに硬貨を挿入してください)。②inspect は「～を検査する」、③insist は「～を主張する」、④install は「～を設置する」という意味です。

◆補足：insert の名詞形は insertion (挿入) です。install はソフトウェアや機器を「使えるように設定・設置する」というニュアンスなのに対し、insert は単純に「中に差し込む」という物理的な動作を表します。

17.

解答 ②

【解説】

正解は②「～のおかげで」です。thanks to ~は、良い結果の原因や理由を示し、「～のおかげで、～のせいで」という意味を表します。Thanks to your help, I was able to finish the work on time. (あなたの助けのおかげで、私は時間通りに仕事を終えることができた)。①「～にもかかわらず」は in spite of ~、③「～の代わりに」は instead of ~、④「～に加えて」は in addition to ~です。

◆補足：thanks to ~は、皮肉を込めて悪い結果の理由を示すために使われることもあります。例：
Thanks to the heavy traffic, I was late for the meeting. (ひどい渋滞のせいで、会議に遅刻した)。

18.

解答 ①

【解説】

「～を取り除く、除去する」という意味に最も近い英単語は①の **remove** です。ある場所から物や汚れ、障害物などを物理的にどかしたり、抽象的なものを取り去ったりする際に広く使われます。例えば、「壁からポスターを取り除く」のように用います。他の選択肢について、② **reduce** は「～（数量・程度など）を減らす」、③ **refuse** は「～を断る、拒否する」、④ **regret** は「～を後悔する」という意味の動詞です。

◆補足：**remove** の語源は、ラテン語の **re-**（再び、後ろへ）＋**movere**（動かす）で、「後ろへ動かす」というのが核となるイメージです。類義語に **get rid of** がありますが、これはより口語的な表現で、「厄介なものを処分する」というニュアンスが強いです。**eliminate** は、完全に「根絶する、排除する」という意味で、より強調的な表現です。名詞形は **removal**（除去）です。

19.

解答 ②

【解説】

「～を推薦する、勧める」という意味に最も近い英単語は②の **recommend** です。人や物、行動などが良いものであると伝え、他の人にそれを試すよう促す行為を指します。例えば、「この本を読むことを勧めます」のように使います。他の選択肢について、① **represent** は「～を代表する、表す」、③ **require** は「～を必要とする、要求する」、④ **reserve** は「～を予約する、取っておく」という意味の動詞です。

◆補足：**recommend** の語法には注意が必要です。**recommend A to B**（AをBに勧める）、**recommend doing**（～することを勧める）、**recommend that S (should) do**（～が…することを勧める）といった形をとります。**suggest** と同様に、**that** 節の中では動詞の原形が使われることが多いです。名詞形は **recommendation**（推薦、勧告）です。語源は **re-**（再び）＋**commend**（称賛する、委ねる）で、「重ねて称賛する」というイメージから現在の意味につながっています。

20.

解答 ②

【解説】

正解は②**extra** です。「通常のものに加えて、余分にある」というニュアンスを持つ形容詞です。**extra charge**（追加料金）や **extra homework**（追加の宿題）のように、名詞を修飾する形で使われます。ま

た、「割増料金で」という意味の副詞としても機能します。①former は「以前の、元の」、③major は「主要な、重大な」、④regular は「通常の、規則的な」という意味で、いずれも文脈に合いません。

◆補足：extra の語源は、ラテン語で「～の外側に」を意味する extra- に由来します。これが「通常の範囲を超えた」という意味につながっています。類義語に additional がありますが、extra が「余分、おまけ」といったニュアンスを含むことがあるのに対し、additional はより中立的に「追加の」という意味で使われることが多いです。例えば、additional information（追加情報）のように、フォーマルな文脈で好まれます。

21.

解答 ④

【解説】

「A に B を思い出させる」という意味に最も近い英語表現は④の remind A of B です。何かを見たり聞いたりすることで、A（人）が過去の B（人・物・事柄）を思い出すきっかけとなることを示します。例えば、「この歌は私に高校時代を思い出させる」は This song reminds me of my high school days. と表現します。他の選択肢について、①inform A of B は「A に B を知らせる」、②accuse A of B は「A を B のことで非難する」、③rob A of B は「A から B を奪う」という意味です。

◆補足：remind は、人が自発的に「思い出す（remember）」のではなく、何か（主語）が人に「思い出させる」という使役的な意味を持つのがポイントです。また、remind A to do（A に～するのを忘れないよう言う）の形も頻出です。名詞形は reminder（思い出させるもの、催促状）です。

22.

解答 ③

【解説】

正解は③「個人的な」です。personal は、特定の一個人に関係する、私的な事柄を指す形容詞です。Please do not ask me such personal questions.（そのような個人的な質問はしないでください）のように使います。①「普遍的な」は universal、②「公式の」は official、④「公共の」は public で、いずれも personal とは対照的な、社会や集団に関わる概念を表す言葉です。

◆補足：personal は、名詞 person（人）の形容詞形です。personal opinion（個人的な意見）や personal information（個人情報）など、様々な名詞と結びついて使われます。よく似た綴りの単語に personnel /ˌpɜːrsoʊˈnel/（人事部、職員）がありますが、これは全く意味が異なるので混同しないように注意が必要です。

23.

解答 ③

【解説】

「親戚」という意味に最も近い英単語は③の **relative** です。血縁や結婚によってつながりのある家族の一員を指します。例えば、「彼は私の遠い親戚です」は **He is a distant relative of mine.** と表現します。他の選択肢について、① **representative** は「代表者」、② **resident** は「住民」、④ **rival** は「ライバル、競争相手」です。

◆**補足**：**relative** は、形容詞として使われると「相対的な、比較上の」という意味になります。動詞形は **relate**（～を関連づける）です。名詞の **relation** も「関係」の他に「親戚」という意味で使われることがあります。

24.

解答 ②

【解説】

正解は②「科学的な」です。**scientific** は、科学の原則に基づいている、あるいは科学に関連する、という意味の形容詞です。**scientific evidence**（科学的証拠）や **a scientific experiment**（科学実験）のように使われます。①「歴史的な」は **historical**、③「地理的な」は **geographical**、④「文学的な」は **literary** です。

◆**補足**：**scientific** は名詞 **science**（科学）の形容詞形です。**scientist** は「科学者」です。接尾辞 **-ific** は「～を生み出す、～にする」という意味を持ち、**scientific** で「科学（知識）を生み出す」というニュアンスになります。

25.

解答 ②

【解説】

正解は②「**develop**」です。「**develop**」は物事をより大きく、より良く、より進んだ段階へと「発展させる、開発する」という意味を持つ基本的な動詞です。経済、技術、個人のスキルなど、幅広い対象に使うことができます。例えば、**The company plans to develop a new software.**（その会社は新しいソフトウェアを開発する計画だ。）のように用います。不正解の選択肢について、①「**destroy**」は「～を破壊する」、③「**maintain**」は「～を維持する」、④「**reduce**」は「～を減らす」という意味であり、いずれも「発展させる」とは異なる意味を持つため誤りです。

◆**補足**：「**develop**」の語源は、古フランス語の「**desveloper**」（包みを開く）に由来します。これは「**des-**」（否定・分離）と「**veloper**」（包む）から成り立っており、元々は「内に秘められた可能性を外に解き放つ」というニュアンスを持っていました。この語源を知ると、「スキルを伸ばす（**develop skills**）」や「病気が発生する（**a disease develops**）」といった多様な意味の根底にある共通のイメージを掴みやすくなります。派生語には「**development**」（名詞：発展、開発）、「**developer**」（名詞：開発者）などがあります。

26.

解答 ①

【解説】

正解は①「現金」です。cash は、紙幣や硬貨といった、物理的な形態のお金、すなわち「現金」を指します。Do you have any cash with you? (現金はいくらか持っていますか?) のように使います。②「小切手」は check、③「預金」は deposit、④「クレジットカード」は credit card で、いずれも決済手段やお金の形態ですが、「現金」そのものではありません。

◆補足：cash は、他の支払い方法と対比して使われることが多いです。I'd like to pay in cash. (現金で支払いたいです) や、Sorry, we don't accept credit cards. Cash only. (すみません、クレジットカードは使えません。現金のみです) といった表現は、店での会話で頻繁に使われます。形容詞としても使うことができ、a cash payment (現金払い) のように使います。

27.

解答 ②

【解説】

英単語「maintenance」は、「維持、整備」という意味の名詞です。建物や機械などが良い状態であり続けるように、定期的に点検・修理を行う作業を指します。例えば、「車の整備」は car maintenance、「維持費」は maintenance costs と表現します。選択肢①「重要性」は importance、③「知性」は intelligence、④「影響」は influence です。

◆補足：maintenance は、動詞 maintain (～を維持する) の名詞形です。maintain には「(～が事実だと) 主張する」という意味もあるため、文脈に応じた解釈が必要です。

28.

解答 ④

【解説】

「利用できる、入手できる」という意味に最も近い英単語は④の available です。物やサービスが手に入ること、あるいは人が応対可能であること(手が空いていること)を示します。例えば、「その商品はオンラインで入手可能です」のように使います。他の選択肢について、①valuable は「価値のある」、②avoidable は「避けられる」、③acceptable は「受け入れられる」という意味です。

◆補足：available の名詞形は availability (利用できること、入手可能性) です。be available for ～(～に入手可能である) や be available to do (～することができる) といった形でよく使われます。

29.

解答 ②

【解説】

「研究」という意味に最も近い英単語は②の **research** です。新しい情報を発見したり、新しい理解に到達したりするために、ある主題を詳細に調査することを指します。例えば、「科学研究」は **scientific research** と表現します。他の選択肢について、① **resource** は「資源」、③ **resort** は「行楽地、リゾート」、④ **receipt** は「領収書」です。

◆補足：**research** は、原則として数えられない不可算名詞です。動詞としても「～を研究する」という意味で使われますが、その場合の発音は /rɪ'sɜːrtʃ/（リサーチ）のように後ろにアクセントが置かれます。名詞の発音は /riː'sɜːrtʃ/（リサーチ）で、前にアクセントが来ます。

30.

解答 ②

【解説】

英単語「**rise**」は、「上がる、昇る、増加する」という意味の自動詞です。目的語を必要とせず、主語自体が上方へ移動したり、数量が増えたりすることを表します。例えば、「太陽が昇る」は **The sun rises.** と表現します。選択肢③「～を上げる」は他動詞の **raise** で、目的語が必要です（例：**raise your hand** 手を上げる）。①「横たわる」は **lie**、④「～を置く」は **lay** で、これらも自動詞と他動詞の混同しやすいペアです。

◆補足：**rise** の動詞活用は **rise-rose-risen** という不規則変化をします。名詞としても「上昇、増加」という意味で使われます（例：**a rise in prices** 物価の上昇）。

31.

解答 ②

【解説】

正解は②「～に基づいている」です。**be based on** ～は、物語、意見、理論などが、ある事実や考えを「基礎としている、～に基づいている」ことを示す表現です。**The movie is based on a true story.**（その映画は実話に基づいている）。①「～に厳しい」は **be hard on** ～、③「～に熱中している」は **be keen on** ～、④「～に依存している」は **be dependent on** ～がそれぞれ適切です。

◆補足：**base** は名詞で「土台、基礎」、動詞で「～の基礎を置く」という意味です。この動詞の受動態が **be based on** ～です。日本語でも「～ベース」と言うように、何か物事を考える上での「土台」となるものを指し示すときに使われます。

32.

解答 ②

【解説】

正解は②「～を遅らせる」です。**hold up** は多義的な句動詞ですが、この文脈のように交通機関や計画などが「～によって遅らされる」という意味で受動態でよく使われます。**The traffic jam held me up.**

(交通渋滞で私は遅れた)。①「～を持ち上げる」、③「～を強盗する」も **hold up** の意味ですが、文脈に合いません。④「～を我慢する」は **put up with ~** です。

◆補足：**hold up** の他の意味も重要です。①「～を持ち上げる、支える」：**Hold up your hand if you have a question.** (質問があれば手を挙げてください)。②「(強盗などが) ～を襲う」：**The gang held up a bank.** (そのギャングは銀行を襲った)。③「(例として) ～を掲げる」：**His work is often held up as a model.** (彼の作品はしばしば模範として掲げられる)。

33.

解答 ④

【解説】

「理論」という意味に最も近い英単語は④の **theory** です。ある事象がなぜ起こるのかを説明するための一連の体系的な考えを指します。例えば、「進化論」は **the theory of evolution** と表現します。他の選択肢について、① **therapy** は「(心理) 療法、治療」、② **theology** は「神学」、③ **theme** は「主題、テーマ」を意味します。

◆補足：**theory** は、「実践 (**practice**)」と対比されることが多いです。**in theory** (理論上は) という表現は、「実際には違うかもしれないが、考えの上では」というニュアンスで使われます。形容詞形は **theoretical** (理論的な) です。

34.

解答 ②

【解説】

英単語「**clinic**」は、「診療所、クリニック」という意味の名詞です。特定の種類の医療やアドバイスを提供する場所を指し、病院 (**hospital**) よりも小規模な施設であることが多いです。例えば、「歯科診療所」は **a dental clinic** と表現します。選択肢①「批評家」は **critic**、③「絶壁」は **cliff**、④「顧客」は **client** や **customer** です。

◆補足：**clinic** は、入院設備のない外来患者専門の医療施設を指すのが一般的です。これに対して **hospital** は入院設備があり、より広範な医療を提供する大規模な施設です。形容詞形は **clinical** で、「臨床の、病床の」という意味を持ちます。

35.

解答 ③

【解説】

「栄養素、栄養分」という意味に最も近い英単語は③の **nutrient** です。生物が成長し、健康を維持するために必要とする物質を指します。例えば、「この野菜には多くの栄養素が含まれている」のように

使います。他の選択肢について、① **ingredient** は料理の「材料、成分」を指す言葉です。② **creature** は「生き物、動物」を意味します。④ **moisture** は「水分、湿気」を指します。

◆**補足**：**nutrient** は、関連語である **nutrition**（栄養、栄養摂取）と混同しないように注意が必要です。**nutrient** はタンパク質やビタミンといった個々の「栄養素」を指すのに対し、**nutrition** は栄養を摂取するという行為やプロセス全体、あるいは栄養学という学問分野を指す、より広い概念です。どちらもラテン語の **nutrire**（養う、栄養を与える）に由来しています。**Essential nutrients**（必須栄養素）といった表現もよく使われます。

36.

解答 ②

【解説】

英単語「**opinion**」は、「意見、考え」という意味の名詞です。ある事柄に対する、個人の判断や信念を指します。客観的な「事実（**fact**）」とは区別される、主観的な見方です。例えば、「私の意見では」は **in my opinion** と表現します。選択肢①「玉ねぎ」は **onion** で、発音が似ているため注意が必要です。③「開会」は **opening**、④「反対」は **opposition** です。

◆**補足**：**opinion** の動詞形は **opine** で、「意見を述べる」というフォーマルな言葉です。**public opinion**（世論）や **a difference of opinion**（意見の相違）といった複合語やフレーズも重要です。

37.

解答 ①

【解説】

「結果」という意味に最も近い英単語は①の **result** です。ある出来事や行動が原因となって生じた事柄を指します。例えば、「試験の結果」は **the results of the exam** と表現します。他の選択肢について、② **report** は「報告」、③ **receipt** は「領収書」、④ **resort** は「行楽地、リゾート」です。

◆**補足**：**result** は動詞としても使われ、**result in** ～（～という結果になる）や **result from** ～（～から生じる）といった形で、因果関係を表す重要な表現を作ります。

38.

解答 ①

【解説】

「(食べ物)を消化する」という意味に最も近い英単語は①の **digest** です。食べたものを体内で分解し、栄養を吸収するプロセスを指します。例えば、「この食べ物は消化しにくい」のように使います。他の選択肢について、② **swallow** は「～を飲み込む」、③ **chew** は「～を噛む」、④ **consume** は「～を消費する、食べる」という意味の動詞で、消化の前段階の行為を表します。

◆補足：digest は比喩的に「(情報など)をよく理解する、消化する」という意味でも使われます。名詞形は digestion (消化) と digest (要約) の二つがあります。形容詞形は digestible (消化しやすい) です。語源はラテン語の di- (分離して) + gerere (運ぶ) で、「別々の場所に運び去る」というイメージから「消化する」という意味になりました。

39.

解答 ③

【解説】

英単語「taste」は、名詞として「味、味覚」という意味で最も一般的に使われます。食べ物や飲み物が舌で感じられる感覚を指します。例えば、「このスープは奇妙な味がする」のように使います。また、服や音楽などに対する「好み、センス」という意味でも使われます。選択肢①「速さ」は speed、②「検査」は test、④「仕事」は task であり、意味が異なります。

◆補足：taste は動詞としても使われ、「～の味がする」や「～を味わう」という意味になります。形容詞形は tasteful (趣味の良い) と tasteless (味のない、悪趣味な) があり、どちらも食べ物の味と個人のセンスの両方の意味で使われます。コロケーションとして "a matter of taste" (好みの問題) や "have good taste in ~" (～の趣味が良い) などの表現を覚えておくと便利です。

40.

解答 ②

【解説】

英単語「aquarium」は、「水族館」という意味の名詞です。魚や他の水生生物を展示し、人々が見ることができる施設を指します。また、家庭で魚を飼うための「水槽」も意味します。選択肢①「広場」は square、③「講堂」は auditorium、④「体育館」は gymnasium です。

◆補足：aquarium の語源は、ラテン語で「水」を意味する aqua と、「～のための場所」を意味する接尾辞 -arium が組み合わさったものです。同じ -arium を持つ単語に planetarium (プラネタリウム) があります。

41.

解答 ③

【解説】

正解は③の give birth to ~ です。この表現は、母親が子供を「出産する、産む」という行為を表す最も一般的な言い方です。My grandmother gave birth to five children. (私の祖母は5人の子供を産んだ) のように使います。① bring up ~ は「～を育てる」、② take care of ~ は「～の世話をする」という意味で、出産後の行為を指します。④ be born は「生まれる」という受け身の表現で、子供の視点から述べるときに使います。

◆補足：give birth to ~は、母親が主語になる能動的な表現です。一方、be born は子供が主語になる受動的な表現です。例えば、She gave birth to a healthy baby. (彼女は健康な赤ちゃんを産んだ) と I was born in Tokyo. (私は東京で生まれた) のように、主語によって使い分けられます。この能動と受動の関係をしっかり理解しておくことが重要です。

42.

解答 ③

【解説】

英単語「relationship」は、「関係、関連」という意味の名詞です。二人以上の人や物事の間につながりを指します。例えば、「彼らとの良好な関係を築く」は build a good relationship with them と表現します。選択肢①「指導力」は leadership、②「市民権」は citizenship、④「親族」は relative です。◆補足：relationship は、名詞 relation (関係) に、状態を表す接尾辞 -ship が付いた形です。a business relationship (取引関係)、a romantic relationship (恋愛関係) のように、様々な種類の関係を表すことができます。

43.

解答 ③

【解説】

正解は③の hand in ~です。この句動詞は、宿題、レポート、辞表などを、先生や上司といった権威のある人に手で渡して「~を提出する」という意味で使われます。All students must hand in their essays by Friday. (全ての学生は、金曜日までにエッセイを提出しなければならない) のように用います。① hand over ~は「~を引き渡す」、② hand down ~は「(伝統など) を伝える」、④ hand out ~は「~を配布する」という意味です。

◆補足：hand in ~と似た表現に turn in ~がありますが、意味はほぼ同じで、どちらも「提出する」という意味で使えます。よりフォーマルな文脈では submit という動詞が好まれます。対照的に、hand out ~は先生が生徒にプリントを「配る」ような、上から下への配布を表すので、混同しないようにしましょう。

44.

解答 ④

【解説】

正解は④call in です。この句動詞は、電話などで専門家（医者、修理工など）を「(自分の場所に) 呼ぶ」という意味で使われます。We had to call in a plumber to fix the leak. (水漏れを直すために配管工を呼ばなければならなかった)。①call off は「~を中止する」、②call for は「~を要求する」、③call on は「(人)を訪ねる」という意味です。

◆補足：call in には、ラジオやテレビ番組に「電話を入れる」という意味もあります。また、製品のリコール（自主回収）を発表する際にも使われます。

45.

解答 ④

【解説】

正解は④の spill です。spill は、意図せずして、コップなどの容器から液体や粉などを「あふれさせる、こぼす」ことを意味します。Be careful not to spill your coffee on the keyboard.（キーボードにコーヒーをこぼさないように気をつけて）のように使います。① stir は「～をかき混ぜる」、② pour は「～を注ぐ」、③ soak は「～を浸す」という意味で、いずれも液体に関する動詞ですが、意図的な行為を表すため文脈に合いません。

◆補足：spill は、事故や不注意によって何かを「こぼす」というニュアンスが重要です。意図的に液体を移す場合は pour を使います。また、比喩的な表現として spill the beans というイディオムがあります。これは「秘密をうっかり漏らす」という意味で、豆の入った袋をこぼしてしまうイメージから来ています。この表現も英検 2 級レベルでは重要です。

46.

解答 ④

【解説】

英単語「risky」は、「危険な、危険を伴う」という意味の形容詞です。何か悪いことが起こる可能性を含んでいる状況を指します。例えば、「危険な投資」は a risky investment と表現します。選択肢①「さびた」は rusty、②「忙しい」は busy、③「厄介な」は tricky です。

◆補足：risky は、名詞 risk（危険、リスク）の形容詞形です。類義語の dangerous よりも、失敗や損失の「可能性」に焦点を当てるニュアンスがあります。

47.

解答 ①

【解説】

「(事業・製品など)を開始する」という意味に最も近い英単語は①の launch です。新しい計画や製品を世に送り出す、大々的に始めるといったニュアンスで使われます。例えば、「新製品を発売する」は launch a new product と表現します。他の選択肢について、② lunch は「昼食」、③ branch は「支店、枝」、④ punch は「～を殴る」という意味です。

◆補足：launch は元々、「(船)を進水させる」「(ロケット)を打ち上げる」という意味で使われます。この「何かを勢いよく送り出す」というイメージが、ビジネスの文脈での「開始する」という意味にも応用されています。名詞としても「開始、発売、進水、打ち上げ」といった意味で使われます。

48.

解答 ④

【解説】

正解は④の **in the face of** ~です。この表現は、困難や危険、反対といった好ましくない状況に「直面して、~にもかかわらず」という意味で使われます。She showed great courage in the face of danger. (彼女は危険に直面して大いなる勇気を示した) のように用います。① **because of** ~は「~のために、~が原因で」、② **instead of** ~は「~の代わりに」、③ **on behalf of** ~は「~を代表して」という意味で、いずれも文脈に合いません。

◆**補足**：**in the face of** ~は、文字通り何かの「顔の前で」というイメージから、「困難などが目の前に立ちはだかっている状況」を表します。単に困難な状況があるだけでなく、それに立ち向かう、あるいはその中で何かを行うというニュアンスが含まれます。類義語の **in spite of** ~ (~にもかかわらず) と似ていますが、**in the face of** ~の方がより直接的に困難と対峙している感じが強い表現です。

49.

解答 ③

【解説】

正解は③**especially** です。この副詞は、同種の他のものと比べて「特に、とりわけ」と、ある一点を強調する際に使われます。I like fruits, especially strawberries. (私は果物が好きで、特にイチゴが好きだ)。①**essentially** は「本質的に」、②**equally** は「等しく」、④**eventually** は「最終的に」という意味です。

◆**補足**：**especially** と似た単語に **specially** がありますが、意味が異なります。**especially** が「特に」と何かを際立たせるのに対し、**specially** は「特別な目的のために」という意味で使われます。This cake was specially made for her birthday. (このケーキは彼女の誕生日のために特別に作られた)。

50.

解答 ④

【解説】

正解は④「給料が良い」です。この表現は、主語となる仕事や会社が「良い給料を支払う、待遇が良い」ことを意味します。It's a demanding job, but it pays well. (それはきつい仕事だが、給料は良い) のように、主語には仕事や企業が来ることが一般的です。①「費用がかかる」は **cost a lot**、②「儲かっている」は **be profitable**、③「支払いが遅い」は **pay late** などと表現できます。

◆**補足**：**pay well** の主語は「仕事」や「会社」である点に注意が必要です。人が主語になって「(人が) 給料が良い」と言いたい場合は、**be well-paid** という受動態の形を使います。例えば、He is a well-paid lawyer. (彼は高給取りの弁護士だ) のように表現します。**pay well** は能動態で「(仕事が)

良い給料を支払う」、**be well-paid** は受動態で「(人が) 良い給料を支払われている」という関係性を理解しておきましょう。
